

裁判所構成法戰時條例

昭和十七年二月二十二日
法律第六十二號

第一條 戰時ニ於ケル裁判所構成法ノ條例ハ本法ノ定ムル所ニ依ル

第二條 戰時刑事特別法第五條第一項及二年法律第九號第二

條及第三條ノ竊盜ノ罪ニ付テハ區裁判所其ノ裁判權ヲ有ス但シ該

罪ヲ經ザルモノニ限ル

第三條 左ニ掲グル訴訟ノ第一審ノ判決ニ對シテハ控訴ヲ爲スコト

ヲ得ズ

一 裁判所構成法第十四條第二ノ訴訟

二 民事訴訟法第六編ニ定ムル訴訟但シ同法第五百九十一條第三

項第一節六百二十條第一項ノ規定ニ依リ適用スル場合ヲ含ム

第六百二十三條第一項

第六百四十七條第二項ノ訴訟ヲ除ク
前項ノ判決ニ對シテハ直接上告ヲ爲スコトヲ得

裁判法

第一項ノ訴訟ノ請求ニ附帶シテ果實、損害、賠償、返金又ハ費用ノ請求ヲ爲シタル場合ニ於テハ前二項ノ規定ノ適用ニ付テハ之ヲ第一項ノ訴訟ト看做ス

第四條 左ニ掲グル罪ニ行言渡シタル第一審ノ判決ニ對シテハ控訴ヲ爲スコトヲ得ズ

一 刑法第二編第七章ノ二、第三十六章及第三十九章、昭和五年法律第九號、戰學刑學特別法第一章、陸軍刑法第二條ニ掲グル各條一第七十九條乃至第八十五條及第九十九條ヲ除ク、海軍刑法第二條ニ掲グル各條一第七十八條乃至第八十五條及第一百條ヲ除ク、防空法、食糧管理法及言論、出版、集會、結社等臨時取締法第十七條及第十八條ノ罪

二 刑法第七十四條及第七十六條、國民總動員法一第四十四條ヲ除ク、昭和十二年法律第九十二號、外國爲替管理法、重擔保險法一第二條乃至第七條及同等二項ス

ヲ除ク。軍用資源秘密保護法（第十一條乃至第十五條）及第十
九條ヲ除ク。要塞地帯法、國境取締法、兵艦輸送港域軍事取
締法、軍用電氣通信法、海軍刑法第七十九條乃至第八十五條及
第九十九條、海軍刑法第七十八條乃至第八十五條及第一百條、大
正十五年法律第六十號政二不審文書臨時取締法ノ罪但シ此等ノ
罪ニシテ外國ト通謀シ又ハ外國ニ利益ヲ與フル目的ヲ以テ犯シ
タルモノヲ除ク

前項ノ判決ニ對シテハ直接上告ヲ爲スコトヲ得

前項ノ上告ハ第一審ノ判決ニ對シ上告ヲ爲スコトヲ得ル理由アル

場合ニ於テ之ヲ爲スコトヲ得

上告兼判所ハ第二審ノ判決ニ對スル上告事件ニ屬スル手續ニ依リ
兼判ヲ爲スベシ

第五條 前二條ノ第一審ノ判決ニシテ區兼判所ノ爲シタルモノニ對
スル上告ニ付テハ控訴院其ノ兼判權ヲ有ス

前項ノ判決ニ付區裁判所ノ爲シタル上告棄却ノ決定ニ對スル抗告ニ付亦前項ニ同ジ。

控訴院ノ上告棄トシテ爲シタル決定ニ對シテハ抗告ヲ爲スコトヲ待ズ

裁判所訴訟法第四十八條ノ規定ハ第一項ノ場合ニ之ヲ適用ス

第六條 控訴院ハ上告裁判所タル場合ニ於テ法律ノ同一ノ點ニ付會テ大審院又ハ上告裁判所タル控訴院ノ爲シタル判決ト相反スル意見アルトキハ決定ヲ以テ事件ヲ大審院ニ移送スルコトヲ要ス

前項ノ決定アリタルトキハ訴訟ノ上告ヲ爲シタル時ニリ大審院ニ發願シタルモノト看做ス

第七條 民事ニ付抗告裁判所ノ爲シタル決定ニ對シテハ與ニ抗告ヲ爲スコトヲ得ズ

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム